

かわら版

2007年11月 122号

- ・時給ミーティング (杉浦 良)
- ・お知らせ (イベント、職場体験実習、菌床ブロック寄贈)・
- ・スタッフ雑感 (青年長期ボランティア 西田 昌史)
- ・不用品回収のしくみ
- ・ご支援下さった皆様 / 編集後記

一時給ミーティング

杉浦 良

昨年7月から、太陽と緑の会リサイクル作業所のメンバーたちの給料の決め方を変え、はや1年が過ぎました。給料ミーティングから時給ミーティングにその形を変えたわけですが、基本は今まで20年間やってきた、様々なハンディーを持ったメンバーたちがお互いの給料決定に参加し、スタッフと一緒に決めるというものです。先月の給料に対して、自分の希望金額を示し、他のメンバーやスタッフが、それぞれ、今まで通りとか、もっと上げてもいいとか、下げたほうがいいのか、金額を出し合い、その平均金額を出して、それで納得すれば決定とします。私はもっぱら司会を務め、端数の調整などで金額決定に口を出すことも

ありますが、電卓のキーを必死で打ちながらその平均金額を出すことに専念します。最初にコメントするメンバーを考えたり、給料ミーティングの先発を誰にするかなど、メンバーたちだけでなく、スタッフに対してもあれこれ考えるのが、密かな楽しみでした。このやり方は、今から26年も前、愛知県で「ポパイの家」と名づけた身体や知的ハンディーを持ったメンバーたちの作業所を立ち上げた時に、作業収入から経費を引いたその残りを、千円札と百円玉に換え、メンバーたちに配らせたのがそのルーツです。メンバーたちひとりひとりにお金を持たせて、それぞれみんなの前にお金を並べてもらいます。自分のところにお金が



高校生職場体験実習

配られるのを食い入るように見つめる目と、お金を置こうかやめようかと一生懸命に悩む表情は、今でも私の脳裏に焼きついています。大混乱になることを予想して反対された方もいましたが、実際は粛々に行われました。これほど厳粛で充実した顔つきを、それ以前の彼らから見た記憶がありませんでした。そのスピリットを少しでも継承し広げるために、今までの給料ミーティングを続けてきました。今までの給料ミーティングの問題点として、調子の悪いとき良いときの差が大きいメンバーにとっては、どうしても厳しい評価が下される傾向にありました。頑張りすぎることがかえって調子を崩し、再入院となるよりは、調子の悪いときは早く切り上げゆっくり休み、調子の回復を待ち、再入院を防ぐことが、実は本当に重要です。スピードはゆっくりで状況判断もできにくいメンバーでも、こつこつ雨の日も風の日も作業を続けることができるメンバーの評価はむしろ高くなります。3障害を持つメンバーが通う作業所では、このことが顕著になります。そこで給料全体をミーティングするのではなく、時給をミーティングで決めると、調子の悪いときは時間を短くして早めに休み、調子の回復を待つことが気軽にできます。全体の給料が下がってもそれは働く時間が短いからで、自分の仕事できていないからではないと理解しやすいのです。とうぜん働く時間が長くなればもらう給料も増えるからです。こんな改革をしたもう一つの理由に「ここで働くと給料はいくらもらえますか？」といった質問が多くなったという点です。今もらっている方の総額や、給料ミーティングの説明をしてもなかなかピンとこないのです。「時給 100 円から 620 円

までもらっているメンバーがおり、最初は 100 円からスタートします。」と伝えると納得されやすいわけです。今まで給料ミーティングで決めた給料や、ボーナス討論会で決めたボーナスの給料総額を、ひとりひとりのメンバーたちの働く時間で割って、基準の時給を算出しました。それを3ヵ月ごとに時給ミーティングで改定します。働く時間は継続できる時間を本人と一緒に決めていきます。継続が難しければ短くし、もっとできそうなら長くします。今までの癖で「100 円アップ！」とってしまうメンバーには、「それは時給にすると1円くらいだよ」といちいち説明しなくてはならない問題もありますが、20年で今のようになったのだから、慣れるのに2、3年かかるのは仕方ないよなあ・・・とひとりつぶやく今日この頃です。「人を育てるのは百年の計」思わず飛び出すひとりごとな・・・。



衣料品値札付け(タッチャーという道具を使用)

お知らせ

ご寄付頂きました

10月27日、石原金属株式会社(代表取締役 石原譲)様より、3万4137円のご寄付を頂きました。

同社では創業50周年を記念した「ありがとう50プロジェクト」に全社をあげて取り組んでおり、社員の皆様が、清掃、海外支援、保育園児との交流などのボランティア活動を行っているとのことです。その一環として2回に渡りチャリティバザーを実施、その収益金を全額当会にご寄付頂きました。

品物集め、バザーの準備、運営、後片付けと、仕事の合間を縫っての作業は本当に大変だったと思います。本当に有難うございました。

イベント

10月21日 徳島市内の新町川右岸のボードウォークにて、第3回NPOボランティアフェア開催 徳島県内29のNPO法人、市民団体がパラソルショップにて出店。太陽と緑の会も出店し、青年長期ボランティアの西田君とメンバーの田村正子さんが参加。

10月26~28日 第12回ぼいんせちあフェスティバル 展示即売コーナーに、徳島県内の地域活動支援センター

・障害者地域共同作業所が出店。太陽と緑の会リサイクル作業所も27日、28日の両日参加。西田君とメンバーの大和さん、田村正子さん、米田君が参加。

職場体験実習

10月22日 阿波高校3年生の戸村さんが太陽と緑の会リサイクル作業所にて職場体験実習。将来は児童福祉関係の仕事希望されているとのことです。

国府養護学校高等部2年生職場体験実習

10月23日、25日、26日 佐藤君

10月30日、11月1日、2日 中尾君、阿部君

ボランティア参加

10月11日より林和代さんがボランティアとして活動を始めました。新館での店内整理・掃除などを担当、細かいことまでよく気がつき、フットワークもよく、本当に助かっています。新館で働くメンバーのいい刺激になっています。

NPOボランティアフェア



菌床ブロック 寄贈

9月23日、徳島市在住の石舟様より、菌床ブロックを100個頂きました。太陽と緑の会月の宮作業所で活用させて頂いています。菌床しいたけは月の宮作業所の主力農産物のひとつであり、大変助かっております。販売収入は様々なハンディを持ったメンバーに給料として還元しています。この場を借りてお礼申し上げます。

研修・講演

9月18日～21日 青年長期ボランティア中間研修
西田君参加

相談支援従事者研修
杉浦参加（9月27日、28日、10月4日、5日、10日）

9月29日 徳島精神保健福祉士協会研修 杉浦
基調講演

10月6日 徳島県障害者地域共同作業所連絡協議会第2回研修会が開催。今回はNPO法人いのちのさと（上板町さざなみ徳島店）にお伺いしました。

同会は、個別給付の就労継続支援事業（雇用型、非雇用型）及びグループホーム事業に取り組んでおり、事業運営で苦労されている点など話して頂きました。当会からは代表の杉浦が事務局として参加しました。

ぽいんちせちあフェスティバル



太陽と緑の会 活動の軌跡

昭和 46 年 4 月

太陽と緑の会設立

筋ジス研究所設立運動を展開

昭和 59 年 8 月

福祉リサイクル活動開始

代表者 近藤文雄（創設者）

責任者 杉浦良（現代表理事）

県内初の心身障害者小規模作業所

昭和 60 年 5 月

初の常設店舗オープン

徳島市東大工町「スターダスト」

昭和 61 年 7 月

徳島市国府町に事務局・作業場兼常設店舗オープン

昭和 63 年 4 月

1 年間ボランティア受入

昭和 63 年 7 月

機関誌かわら版創刊

平成 2 年 9 月

ワークキャンプ事業開始

平成 3 年 7 月

廃食油の粉石けん化開始

平成 4 年 4 月

アジアボランティア受入

平成 18 年 4 月

事務局建物が再建

全国 5000 人のご支援により再建

平成 17 年 6 月

環境大臣賞受賞

平成 17 年 2 月

事務局・作業場兼店舗の建物が火災により全焼

平成 16 年 10 月

ウガンダ研修生受入

平成 12 年 7 月

月の宮作業所開所

平成 12 年 5 月

太陽と緑の会 NPO 法人化

平成 12 年 3 月

ウェブサイト開設

平成 10 年 3 月

代表者近藤文雄 死去

杉浦良が代表者となる

平成 10 年 2 月

ソーラー発電システム設置

平成 5 年 4 月

月の宮共同生活棟開始 助成活動開始

太陽と緑の会のホームページで、詳細な年表を公開しています。そちらの方もごらん頂ければ幸いです。

URL <http://www2.ocn.ne.jp/~t-midori/index.htm>

『注目していること』

こんにちは、07年度の一年間ボランティアの西田といいます。早いもので私がここ太陽と緑の会に来て半年以上経ちました。やること見ること初めてのことで、気が付けばもう11月か、という感じです。朝から寝るまで何だかんだとやることもあり、なんというか、まあボランティア冥利に尽きて、ありがたいです。

さて機関紙であるかわら版に寄稿できる、あまりない機会なので普段言えないようなことでも書いてみようかなと思います。私は常々、ここ太陽と緑の会に注目していることがひとつあります。それは何かと申しますと「太陽と緑の会のメンバー・スタッフの中に髪の毛の薄い人がいない(私の知る限り)」ということです。最年長57歳メンバーのお二方の髪はフサフサ、多少白いものが混じっていますが毛根はまだまだ元気みたいです。57歳といえば髪の毛の薄くてもおかしくない年齢ではないでしょうか。私の父もお二方と同じ年代なのですが、父の髪はかなり寂しく地肌がチラホラしています。また他にも40代30代の男性の方々が数多く働いているのに誰一人髪の毛が薄い人がいないのです。みんなフサフサなのです。

何故私がこんなことに注目しているかというと、私も今年で年齢30、身も心もそして頭皮も中年に向かってまっしぐらなのです。つまり年齢的に頭皮に危機感を抱くようになってきたのです。そしてまた遺伝的にも髪の毛に自信のある家系ではないのです。現にお盆に帰省した折り、兄(34歳)の生え際は家族の鼻真目に見ても明らかに後退していました。「はげてないじゃん心配しなくても大丈夫」と私

の髪の毛を見ておっしゃってくださる方もいます。大変ありがたい言葉ですが、本人にしか分からないこともあります。20歳のころと比べると鏡の中の私とは髪の毛の密度が違います。例えるなら、普通の牛乳と低脂肪乳の飲み比べ、もしくは炭酸飲料買ったつもりが飲んでみたら微炭酸だった…のような物足りなさが現実に立ちふさがっています。簡単に言うと「俺はげちゃうんじゃないか？」という不安に30歳になってからより一層悩まされているのです。

単なる偶然で髪の毛の薄い人がいないのか、職場が頭皮に優しいのか、食べ物やシャンプーが関係しているのか、もしかして面接時に髪の毛の薄くなりそうな人お断りしているのか…いろんな仮定や推測が日々頭を廻ります。ひとつとじゃない問題なので、これからも一年間ボランティアの終わりが来るまで太陽と緑の会に注目していきたいです。私の頭皮活性化法を発見できる日を夢見て…。

季節はいつの間にか冬間近。一年間のボランティアも終わりがそろそろ見えてきた感じです。あと数ヶ月、なるべくお役に立てるようがんばっていく所存です。
(西田 昌史)

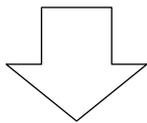


太陽と緑の会 不用品回収のしくみ

回収依頼のお電話

088-642-1054

「はい、太陽と緑の会です」
「引き取りに来てほしいんやけど」
「品物はどんなものがありますか」
「衣類、食器、新聞です」
「分かりました。それでは、お名前とご住所とお電話番号をお願い致します」
「名前は美馬、住所は徳島市入田町月の宮227-39、電話は088-644-0171です」
「分かりました。それでは回収担当の者から、お伺いする日時を今日明日中にご連絡させていただきます。有難うございました」



日時決定のご連絡

「こちらは、太陽と緑の会と申します。回収にお伺いする日が決まりましたので、お電話させて頂きました。○月○日の午前10時からお昼の間にお伺いしたいと思いますが、ご都合いかがでしょうか」
「ほな、その時間に来て下さい」
「それでは、○月○日の午前10時からお昼の間にお伺い致しますので、よろしくお願い致します」



電話担当メンバーの名田さん。

名前、住所、電話番号、及びお引取りする品物をお聞きして、回収カードに記入する、という仕事を担当しています。

回収の詳細、日時については、回収担当スタッフから連絡が入った時にご相談下さい。



不用品回収担当スタッフから直接お電話させて頂きます。

お引き取りしているもの

衣料品（オールシーズンOK）・着物、食器（単品、欠品のあるセット商品も可）、花器、台所用品、洗面用品、文具、雑貨、寝具（しみ破れの無いもの）、おもちゃ、本、CD・レコード、靴・かばん、工具、ガス器具、自転車、楽器、電化製品（家電リサイクル法対象品は製造年数によってお引取りできない場合あり）、オーディオ、パソコン本体（デスクトップはウィンドウズXP以降）・周辺機器、暖房器具、資源ごみ（古紙、鉄屑、缶、テンプラ廃油、一升ビン、ビールビン）、テンプラ廃油、家具類

回収当日

「おはようございます。太陽と緑の会です。回収にお伺いしました」 「どうぞ」
 「これ、(太陽と緑の会の機関紙)かわら版です。よろしくお願い致します」
 「ここに、ある衣類と食器と新聞、持っていで(持って帰って)くれるで」
 「分かりました。ありがとうございます。」 「テンブラ廃油もいけるん？」
 「はい、いけます」 「ほな、ここにあるけん、持っていでよ」
 「品物は以上でよろしいですか」 「これで終わりです」
 「分かりました。今日はありがとうございました。またよろしくお願い致します。」



大型の家具類は、現物を見させて頂き、リユース可能なものであれば、お引取りしています。



当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2007年8月1日～2007年9月30日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付下さった皆様方

松島 隆、バルネケ動物病院、成瀬、成瀬、小林 清美、成瀬、森本、匿名、匿名、山村 隆徳、成瀬、西田 成、匿名、石原金属株式会社 代表取締役 石原 譲

不用品を回収させて頂いた方々

○徳島市○東條、カンガルー歯科、新見、あみせん魚店、天野、川崎、新井、平山、徳島県設備業協会、豊田、大智、吉崎、大蔵、岡本、忠津、奥田、萱原、中村、渡辺、増田、福田、宮本、湯村、阿部、笠井、山本、おんき堂しん灸院、金野、キトー、長谷、猪俣、紅路、正満、豊田内科、松本、中野、山内、久次米、ユニオン則量、岸、鶴島、原、中川、浦田、宮本、阿部、大西、佐藤、島野、鎌田、志摩、藤黒、松永、杉原、坂東塗装、市川、住吉、黒川、松崎、柳、有吉、畠中、般若院、川田、井戸寺、湯浅歯科、山田、和田、井筒、川瀬、藍川、松原、水上、鈴木、若林、矢野、祖父江、木内、浜口、高夫、清川、笹島、わたべサイクル、吉田、前田、岡、岡田、初崎、藍野、きくら、大和、岡川、真田、瀬川、八木、横山、成瀬、藤井、橋本、笹原、後藤、森脇、長條、栗田、淀屋、日和田、吉野、祖川、前川、田沢、藤坂、山下、北島、金丸、フォトハラダ、青山家具、椎野、福永、福永、西原、河野、徳光、美馬、吉本、坂本、ダン、折野、新田、砂川、山本、森、斉藤、坂東、豊田、米沢、青木、三木、川村、ユニオン測量、吉岡かん魚園、武村、森西、中川、奥浦、伊沢、加藤、川原、松本、溝口、森脇、幸田医院、四国日の出商事、工藤、栄、辻本、河村、勝瀬、天野鉄工所、臼井、パソQ、佐藤、森本、益田、桧、福田、岡本、河崎、真田、坂本、村沢、松本、横山、井内、後藤、渡辺、大宗、田村、緒方、布川、はやい、小川、田口、鈴栄、三原、新開、角、山口、寺沢、大黒、岡田、小倉、張、長谷、藤井、松村、相原、PL 徳島教会、浅見、清水、平山、柿原、高橋、近藤、安藤、松原、矢野、米本、工藤、岡川、日開、栗田、多田、富岡医院、中平○鳴門市○国分、芝商事、福島、三好、大杉、雑賀、秋山、エコリサイクルショップ○石井町○阿部、上島、川上、桜井、割石、篠原、高橋、山本、露口、桜井、小林○藍住町○小倉、岡本、富岡、永田、北川、岡田、日下、瀧川○北島町○上野、中野、結城、中西、ポーラ○小松島市○本庄、笠井、金西、有賀○阿南市○島○板野町○酒井○上板町○新見工業所

不用品を持ち込んで下さった方々

○徳島市○野沢、カネシロ トレイシー、近藤、谷越、堀口、枇本、藤原、和田、松永、西村、忠津、小倉、芥川、古川、山崎、クリスティナ ラム、西川、伊藤、山城、黒島、稲原、森本、宇野、吉田、富永、阿部、岩瀬、佐々木、藤本、佐伯、坂東、中村、浅野、小笠原、勝本、中島、盛、谷、片岡、多田、坪内、山本、秋山、津田、藤村、飛田、竹尾成松、樋口、谷口、平土、蔭山、松岡、植田、植松、山田、小松、奥村、渡、三浦、谷川、佐藤、東、中西、矢部、小路、笹田、柿澤、吉川、岡山、斉田、吉岡、清水、金本、安崎、伊藤、竹内、蔵本、工藤、宮内、田中、森下、三星、福田、祖父江、(株)ゼンリン、高尾、庄野、大西、島、永井、三木、富林、伊東、美馬、富永、柏原、島本、阿瀬川、角、桑村、生駒、三浦、新居、荒木、井内、柏野、溝端、服部、藤岡、加藤、浅見、山西、中川、篠原、後藤、友川、福井、石山、小林、花棚、山口、米原、佐古、堀金、鈴木、大島、河野、木内、大島、溝部、岡本、黒田、中阿地、田村、沖津、笹山、松浦、石原、宮崎、黒上、岸、川島、久次米、住吉、木村、三好、前野、小川、福家、立川、久米、三浦、中谷、大上、西口、芝原保育所、広瀬、中原、笹島、岡本、長濱、馬越、滝下、手橋、管惣、柳沢、坂本、西岡○美馬市○北岡、田辺○神山町○中嶋、天野○板野町○エコリース、寒川、五條、賀満田○阿南市○四宮、森、松尾、嶋崎、阿部○阿波市○田中、辰巳、岡田○小松島市○吉見、金沢、宮田○吉野川市○鳥羽、井内、中西、迎、戸田、祖父江○藍住町○野口、杉村、藤野、高橋、山本、芥川、土井、梶本、井上、南、東條、山田、国見○石井町○児島、伊勢、中野、中西、松田、木金、久保、久米、加藤、藤本、吉田、吉成、中木、木村、張川、富士原、佐藤、岩本、佐原○上板町○瀬尾○松茂町○リーデル クリス○勝浦町○福田○東みよし町○正木○北島町○岩木、長谷部、西内、竹内、清水○鳴門市○高松、泊、沢口、浜田、石丸、井上、矢部○愛知県○杉浦○香川県○吉村○東京都○滝倉○大阪府○大塚食品

編集後記～73分の1のリサイクル～

ここ5、6年くらいの間徳島でもリサイクルショップさんが一気に増えてきた感があります。通常は、程度のいいものを買い取り、店舗の維持経費、人件費に利益を上乗せした価格で販売する、というスタイルをとっています。

ご存知かもしれませんが、これらのお店ではどんな品物でも買い取ってくれるわけではありません。

例えば、電化製品であれば製造から5年以上たったもの、PSEマークのないもの、大きなキズ・汚れがあるものは、ビンテージ品を除き、買い取ってもらえないことが多いです。

その他、店によって多少の差はありますが、贈答品・食器・タオル・シーツ類は新品のみ、ノーブランドの衣料品は購入後1年以内のもの、ノーブランドのくつ・バッグは新品のみ買取可能で、シーズンオフの衣料品はダメ、など様々な条件がついてきます。

裏を返せば、これらの条件を満たさない品物は、たとえまだ十分に使えるもの

であったとしても、すべてゴミとなります。他に使って下さる方が見つからなければ、行政が税金で処分をします。もったいない話です。

太陽と緑の会は23年前、不用品・資源ゴミのリユース・リサイクル事業を開始、年間約1000トンの不用品・資源ごみを無料で回収してきました。リサイクルショップさんのルートには乗りにくい品物の数々も引き取り、約8割をリユース・リサイクルにつなげてきました。

1000トンというと徳島市民3569人(徳島市民の73分の1)が1年間に出す家庭ごみの量に相当します。徳島市のゴミ処理経費は1トン当たり3万5882円(平成16年度)(徳島市作成資料)となっており、太陽と緑の会は年間約3300万円(推計)の行政コスト削減に貢献しています。

同時に、太陽と緑の会のリユース・リサイクル事業は、様々なハンディを持った人の就労訓練の場、ボランティア育成の場にもなっており、障害者地域福祉や社会教育の分野とリンクさせているのが一味違うところです。(文責：小山)

特定非営利活動法人 太陽と緑の会

私たちは生態系のリサイクルを含めたリサイクル・リユース活動を、様々なハンディを持ったメンバー達の地域共同作業所(2箇所)とリンクさせて、行っております。地域の中で「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしにかかわらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指して、様々な方々(一般市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら年間300日、土、日、祭日を含めた、日常活動を行っております。

発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島県徳島市国府町南岩延 107-1
TEL・FAX 088-643-1054 (事務局)
TEL・FAX 088-642-1054
(不用品リユース・地域活動支援センター)
URL <http://www2.ocn.ne.jp/~t-midori/index.htm>
E-MAIL t-midori@jeans.ocn.ne.jp

代表理事 杉浦 良 編集 小山 隆太郎
編集サポート 岡田 郁子
年会費：正会員1万円 準会員1,000円
郵便振替口座：01620-8-44703